

地域支援だより

令和元年10月25日

第97号

きらりNet

秋田県立秋田きらり支援学校
地域支援部

ICT(情報通信技術)の活用

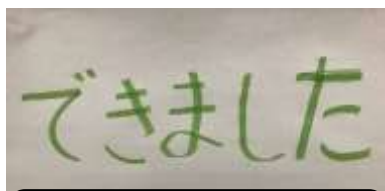
タブレット端末の活用

表現を補助するためのツールとしての活用 ～アプリ「ドロップトーク」の紹介～

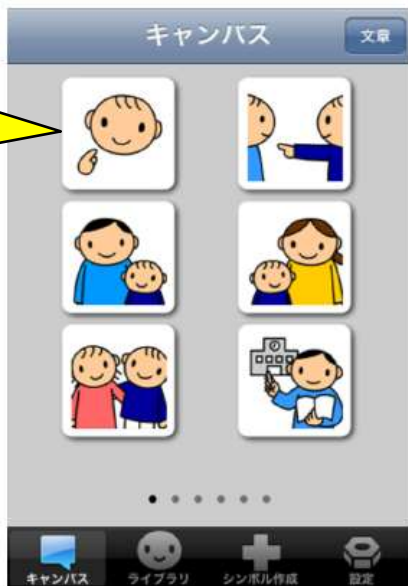


ドロップトークはタブレット端末のアプリで、VOCA（携帯型会話補助装置）と同様の機能があります。画面のシンボル（アイコン）をタップすることにより、あらかじめ録音した音声流れます。無料版はありますが、1つのキャンバスしか表示できないなど、機能が制限されます。有料版は3,000円です。デジタルの手軽さ、様々な機能が児童生徒の表出の助けとなります。

録音ができるので、「僕」などシンボルに意味づけができる



文字を撮影して、シンボルとして使える

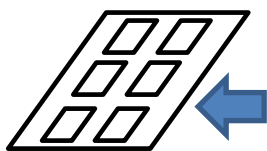


キャンバスのシンボルの数を変えられる



友達の顔、健康観察簿など、身近な人や普段使うものを撮影してシンボルにできる

こんな使い方ができる
・朝の会や集会の司会
・状況に応じたあいさつ
・ファンファーレなど、きっかけとなる音を鳴らす
など・・・



誤タップしてしまう場合は、図のように厚紙を切って仕切りを作ることで、間違いが減ります。

シンボルと録音メッセージを工夫し、感情や健康状態などを状況に応じて表出できるようになると、子どもの生活はより豊かになると考えます。一人の児童生徒に対し、一台の専用端末が必要となりますが、児童生徒にとって本当に必要なのか、本人、保護者、教師が連携し、そのニーズを確かめながら活用を検討する必要があると考えます。（文責：葛西輝美）

実践紹介⑤

スカイプ 【病院内訪問教育】Skypeの活用

秋田きらり支援学校では、中通総合病院に入院している児童生徒の病室を訪問して授業を行っています。

児童生徒が外泊等しているときや、病室内に教師が入室できないとき等、学校と自宅、または学校と病室をインターネット電話サービス（ビデオ通話）でつないで授業を行うことがあります。（本校ではスカイプを使用）

また、児童生徒の復学支援の一環として、学校の授業や行事をスカイプで病室とつなぐ取組も行っています。

☆病院内訪問での自立活動の指導については、きらり Net 第 84 号、スカイプを使った授業については、第 86 号に記事があります。御覧ください。



Skype での家庭科の授業
～調理用具の使い方～

スカイプ

秋田きらり支援学校

検索

教育専門監のコーナー

《学ぶことは生きること》

【院内学級の子どもたちが教えてくれた大切なこと】

大切にしているかかわり（副島 2018）

- 1 発達を保障する(学びとあそび～日常)
- 2 『今』を味わう(子どもに戻す)
- 3 不安の軽減(安全・安心を感じる)
- 4 感情の表出(どんな感情も大切に)
- 5 感覚を発揮できる(学びを発動する)
- 6 肯定的な自己イメージを育む
(社会的自尊感情と基本的自尊感情)
- 7 治療に向き合う力を培う(エネルギー)
- 8 病気と共に生きていく力を育てる(物語)
- 9 ひとりじゃないよ・ひとりでも大丈夫(援助希求)
- 10 共に生きる力を持つ(自立)

Doing の前に Being

「目の前の子どもに、『何かが行える』『何かができる』(社会的自尊感情)ことだけでなく、『そこに存在しているだけで価値がある』(基本的自尊感情)ということ伝えるかかわりが必要であると思うのです。」

第60回全国病弱虚弱教育研究連盟研究協議会宮城大会
講演 「学ぶことは生きること」 (令和元年8月開催)
副島賢和(昭和大学大学院准教授) より

「大切にしたいのは、『関わり合うことの楽しさを実感できる事』『互いのよさを引き出し合う事』、そして、『自分のことを深く知る事』。

子ども達が『わかる』『できる』という実感を持てる指導に加え、ひとり一人の意欲を引き出す関わりが大切。」「そのためには、『Doingの前にBeing』、日々の生活の中で『生まれてきてよかった』『自分には価値がある』という、肯定的な自己イメージがもてるような関わりが必要。」

副島先生はそう話します。

学ぶことは生きること、誰もが学びに参加できる、誰もが自分にとって一つ上の学びを目指すことができる、そして誰もが相手と関わることの喜びを感じられる、そんな学校でありたいと願い、コミュニケーション支援機器や遠隔授業などの、様々な表現の形を提案しています。

「自分はだれかにとってかけがえのない存在である」そのことを感じられるように、ひとり一人が支援ツールで自分の気持ちや考えを表現したり、様々な授業の形で相手と関わったりしながら今日も学んでいます。

〈文責：二階堂 悟〉

◇教育相談・見学の希望があれば、いつでも御連絡ください。

教頭 兜森 宏征 地域支援部主任 大友 明希子

住所：〒010-1409 秋田市南ヶ丘1丁目1番1号

E-mail：kirarisien@akita-pref.ed.jp

電話：018(889)8573 FAX：018(889)8575



「きらり Net」は本校ホームページから閲覧することができます。

<http://www.kagayaki.akita-pref.ed.jp/kirari/index.html>